

2022年1月1日（土） 蓼科山

メンバー：岩田

昨年の初日の出は、天候が悪い予報で諦めたところ、実際には晴れて悔しい思いを。今年は気合を入れてリベンジです。

朝（？）2時45分起きでスタート。山頂到着する時刻が決まっているので、早すぎは厳禁。蓼科山山頂ヒュッテが年越し営業ということで、トレースありを確信し予定より30分遅めの行動としました。（登山口で気温マイナス15度）

女神茶屋駐車場では登山準備をしている人がいるが、時間調整（？）のためゆっくりしている様子。構わず1番で登山開始。登山道はやや雪に埋もれたトレース有。ヘッドライトの明かりでは、ピンクテープを見つけることは困難で、暗い中での行動はトレース無いと厳しいとわかりました。登山道には新しい鹿の足跡がついていましたが、途中で登山道外へ。鹿のトレースだとV字になっているのすぐにわかりました。

最初の急登でアイゼンを着ける。

順調に標高を稼ぎ、樹林帯を抜ける手前で、行動食を腹に入れ、バラクラバを装着。メガネは曇るので外す。このあたりで空が明るくなり、ヘッドライトも外す。（写真1）ここで後続の方1名が先行。

樹林帯を抜けたところから地吹雪でトレースがなくなり、ラッセル状態。まずは先頭の方に付いていく。

準備してくれているポールを頼りに小屋へ向かう。途中で先行の方がややルートから外れ苦戦しているので、先頭でラッセル。強風・地吹雪のため、小屋陰に避難。

小屋陰で日の出を待ち、無事初日の出となる。（写真2）（写真3）（写真4）

日の出後、やや風が弱まり、山頂方向が何となく見える状況になったため、頂上を極める。ただし余裕はなく、自撮り等はなし。

下山は、付けてきたトレースを忠実にたどり、樹林帯へ。（写真5）

この時点で気温マイナス20度、山頂は何度だったことか。あとは、歩きやすい雪道を軽快に登山口まで下りる。（写真6）

【ロースタイム】

写真1 明けてきた

女神茶屋	4:00
2113三角点	5:20
蓼科山山頂ヒュッテ	6:50
蓼科山山頂	7:10
2113三角点	8:00
女神茶屋	8:30



写真2 2022初日の出



写真3 山頂付近の積雪の様子



写真4 山小屋越しの日の出



写真5 ラッセルの跡



写真6 樹林帯にて



写真7 蓼科山遠景

